

学校名候補の協議について

(委員得票数順の五十音順)		
No.	学校名候補（よみかた）	応募理由 (教育委員会への提案理由)
1	走馬（そうま）	<ul style="list-style-type: none">・ 2つの学校の一文字を入れて対等な統合であることを名前から示すため。・ どちらの漢字も残すことで地域の人に馴染む名前。・ 両校名の歴史的な由来を尊重すべき。それぞれの土地への愛着を感じられる。・ 『馬のように元気に走りまわる子供達』、『走る馬のようにかっこいい、爽快感のイメージ』、『真っ直ぐに突き進むイメージ』を連想できる。・ 未来に向かって「池月」の名馬のように力強く疾走していった欲しいという願いを込めて。・ 呼び方が言いやすい。
2	馬堀（まぼり）	<ul style="list-style-type: none">・ 地名と同じ学校名がわかりやすい。・ 中学校が側にあるので、学校名を合わせた方が良い。・ 学校名の変更や、所在地と関係のない校名にすると、バス停名や信号機名、民間の商店企業、災害避難時の混乱等、生徒や学区の住民だけでなく広く影響が及ぶ可能性がある。・ 予算等の面から、変更しない方が良い。
3	走水馬堀（はしりみずまぼり）	<ul style="list-style-type: none">・ 両校の卒業生に名を残すため。共に歴史があり消すことが出来ない。・ 走水小と馬堀という地の両方を維持して欲しい。
4	馬堀走水（まぼりはしりみず）	<ul style="list-style-type: none">・ 馬堀も走水も名は残してほしい。両校が合併するのに一番分かりやすい名前とし、所在地が馬堀町のため馬堀を先にした。・ 地域とは全く関係ないような名称とはせず、双方共に由緒ある地名で末永く後世に伝えたい。
5	池月（いけづき）	<ul style="list-style-type: none">・ 走水と馬堀は、どちらもヤマトタケルと池月で繋がっている。ヤマトタケルが乗っていた馬の『池月』。馬堀の地名の由来になっている名馬であり、児童はこの名馬の伝説を在学時に学ぶ。・ 小学校の名前ということで、『池月』は児童の皆さんが書きやすい漢字である。・ 小学校がある地区の歴史に関係がある名前のほうが受け入れやすい。
6	シーサイド（シーさいど）	<ul style="list-style-type: none">・ お母さんが走水小の人だったので、応募しました。
7	潮風（しおかぜ）	<ul style="list-style-type: none">・ 馬堀小学校も走水小学校も海に近く、穏やかで優しい感じの校風である。「潮」の漢字は、さんずいに朝と書くので、学校で学ぶ子どもたちも、太陽が昇るように明るく大きく暖かな心を持って成長してほしい。・ 潮風はさわやかな風の意味。潮風は季節間をより一層感じさせてくれる。潮風を感じ海の音、波の音を感じ心豊かに育ってほしいと想いをこめて。
8	まぼり（まぼり）	<ul style="list-style-type: none">・ 平仮名表記にすることで、一年生にも優しい校名になる。柔らかい印象になるとともに、これまで親しまれている地域の名前を残すことにもなる。 (2と共通)
9	馬堀海岸（まぼりかいがん）	<ul style="list-style-type: none">・ 馬堀海岸駅が最寄り駅だから。
10	未来の翼フューチャーウイングス (みらいのつばさ ふゅーちゃーういんぐす)	<ul style="list-style-type: none">・ 馬堀小とも走水小とも、長い歴史を有する。特に走水は統合と言っても、廃校としてのイメージが強い。ならば、昔の校名を全く連想させない名前の方が新しくスタートするにはふさわしい。

No.	学校名候補（よみかた）	応募理由 （教育委員会への提案理由）
11	あおぎり（あおぎり）	<ul style="list-style-type: none">・ 昔は、中学校と小学校の間にあおぎりの木がありシンボリックな存在であった。・ 以前、支援級のクラスに「あおぎり学級」とつけており、なじみのある名前。あおぎりは水気が多いことから火事からも守ってくれる強いイメージもある。また広島市の平和記念公園にもあり平和的なシンボルとしても知られている木。
12	海風（うみかぜ）	<ul style="list-style-type: none">・ 海は、馬堀、走水ともに海に近く、風が気持ちよい。・ 朝起きたときに東京湾からの汽笛や心地よい海風を感じられる小学校だから。
13	海の子（うみのこ）	<ul style="list-style-type: none">・ 馬堀は元々海水浴場だったため、海のすぐ近くの恵まれた環境で、子供たちが健やかに成長することを願って。・ 走水と馬堀の海を愛する気持ちと、子供たちにも思い出に残る名前が良い。・ 学校名は、走水馬堀両校に対等となる名称であるべきで、世界や未来に繋がる明るい「海」にちなんだ名称が良い。調べた限り全国にない「海の子小学校」がはつらつとしたイメージも加味された名称である。
14	たちばな（たちばな）	<ul style="list-style-type: none">・ 馬堀小学校付近の山には、柑橘系（みかん、たちばな）の木が生息していた事にちなんで。日本書紀の神話に登場する柑橘系の木、すぐに散る桜とは対比的に「永遠性・持続性」の象徴と考えられている。・ 横須賀最古の伝承である弟橘媛命伝説から、両校に由来があるため。・ 151年の歴史がある、走水小学校の校歌にもある。
15	橘（たちばな）	13 と共通
16	はま（はま）	<ul style="list-style-type: none">・ 走水の「は」と馬堀の「ま」を取って。両校とも海岸の側、浜をイメージしやすいため。
17	浜（はま）	15 と共通
18	ひかり（ひかり）	<ul style="list-style-type: none">・ 子供達の未来が光り輝いていて欲しい。・ 海や山々が光り輝き、地域の子どもも大人も光り輝く、みんなでつくる新しい学校。子どもの笑顔に満ちあふれて、まぶしい未来、光り輝く未来をイメージして。
19	広（ひろ）	<ul style="list-style-type: none">・ 広い(幅広い)小学校だから。
20	馬走（まそう）	<ul style="list-style-type: none">・ 母校の校名が、一文字でもあってほしいと願いがある。両校の頭文字を取って。読み方は、まそう又はばそう。(の) ばそう＝伸ばそうという成長の意も込め。・ 統合した事が後々分かり易い校名が良い。
21	明生（めいせい）	<ul style="list-style-type: none">・ 二校が合流し新しい校風を作っていくため。
22	海来（みらい）	<ul style="list-style-type: none">・ 未来のある子ども達を海に例えて。海は世界とつながっていて、将来、色々な架け橋になるように育ってほしいとの思いを込めて。

※ は委員投票数が同数のもの